

大阪湾漁場環境速報

2021年 2月 5日発行
兵庫のり研究所

小型珪藻のスケルトネマやキートセロスが、湾奥や大阪府沿岸域では多く確認されましたが、それ以外の海域ではほとんど見られない状況です。窒素は、陸水等の影響が見られた地点を除き湾中央から北部で概ね2 μg-at/L台、淡路東浦沖で全般に2 μg-at/L前後でした。

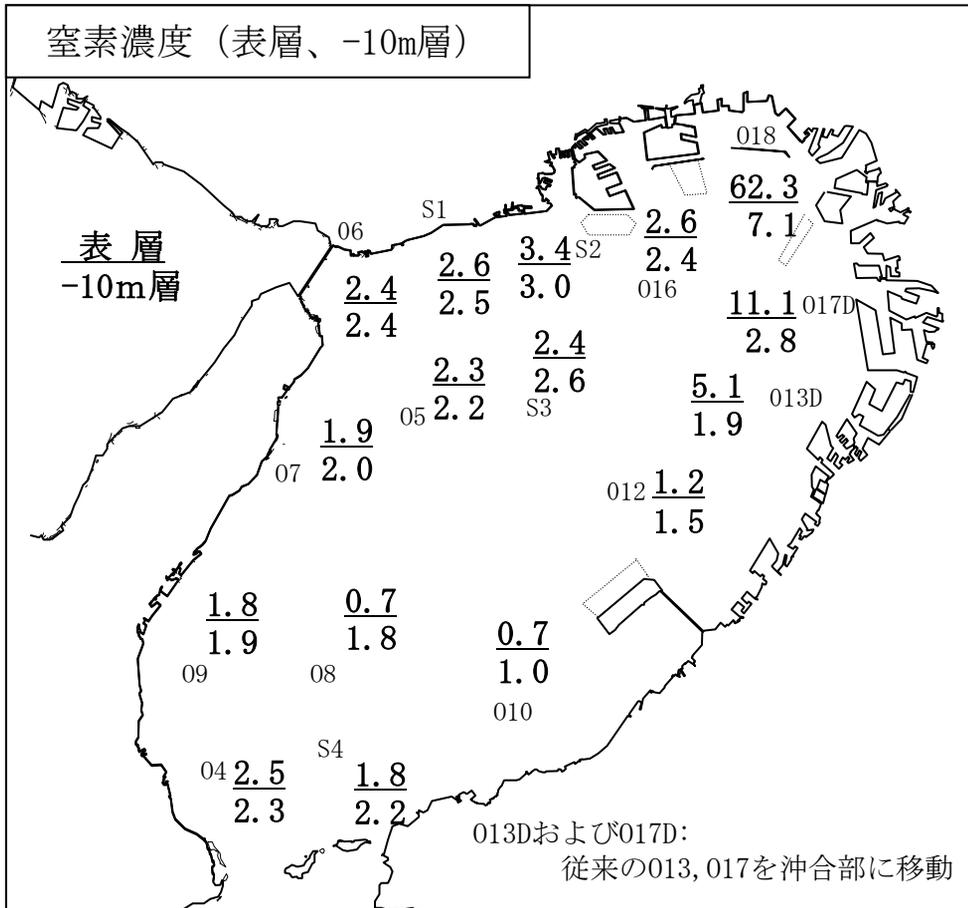
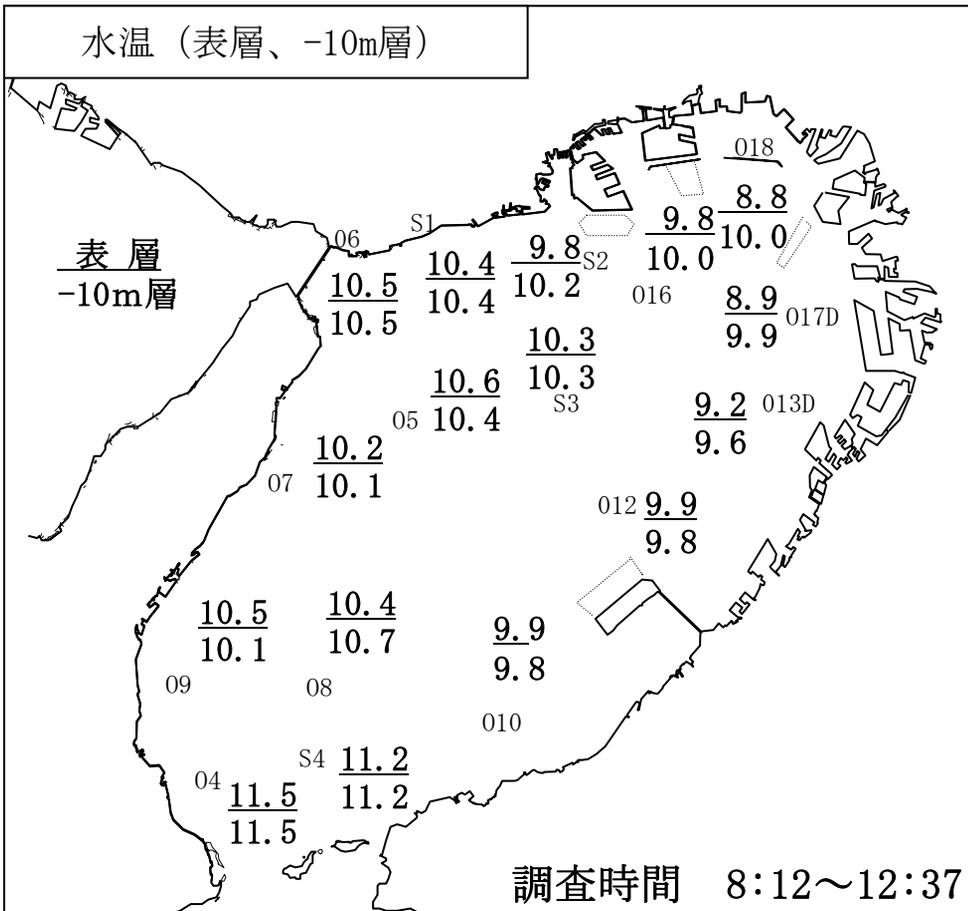
(水温) 表層は湾内8~11℃台で、平均10.4℃。平年比約1.0℃高い。-10m層も平均10.4℃(平年比+0.3℃)。

(塩分) 表層平均32.25psu(平年 31.11)。-10m層平均32.32psu(平年 32.01)。

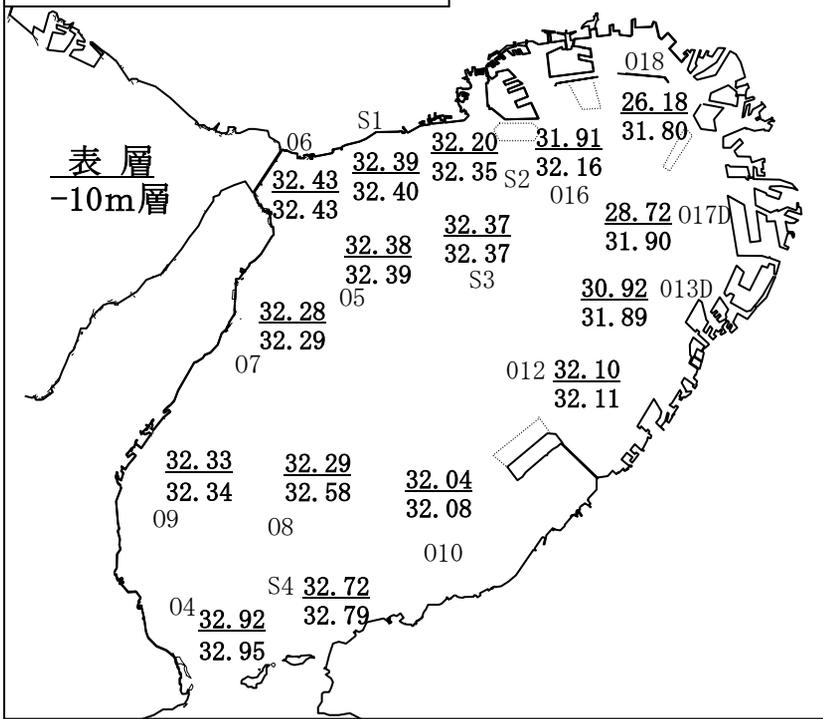
(栄養塩、他) 表層の窒素は平均2.0 μg-at/L、リンは平均0.30 μg-at/L。-10m層(平均)は、窒素2.1 μg-at/L、リン0.34 μg-at/L。先月末に大阪湾全域で大量発生していたスケルトネマやキートセロスは、湾奥から関西空港周辺において多く確認された以外はほとんど見られない。また、ユーカンピアも全域でほとんど確認されなかった。窒素は関西空港南部周辺にかけて低い値であったが、それ以外の海域では全般に2 μg-at/L台となっており湾全体的な栄養塩はやや回復した状況。

上段 (今回値)	2021年 2月 5日調査
中段 (昨年値)	2020年 2月 5日調査
下段 (平年値)	2月上旬

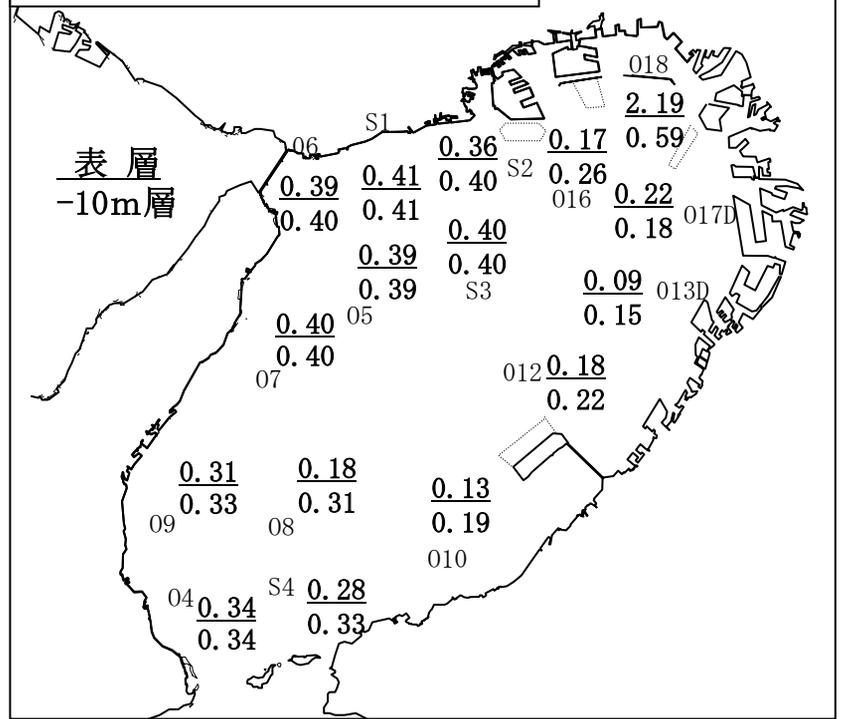
調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 (μg-at/L)	磷酸 (μg-at/L)
04	11.5	32.92	2.5	0.34
	11.0	32.51	3.9	0.34
05	10.6	32.38	2.3	0.39
	9.8	31.79	3.5	0.33
06	10.5	32.43	2.4	0.39
	12.1	32.41	4.8	0.53
07	9.8	31.50	4.1	0.33
	10.2	32.28	1.9	0.40
08	9.7	31.71	2.7	0.27
	10.4	32.29	0.7	0.18
09	10.2	31.94	2.5	0.25
	10.5	32.33	1.8	0.31
010	10.2	31.98	2.5	0.27
	9.9	32.04	0.7	0.13
012	9.1	31.17	3.1	0.16
	9.9	32.10	1.2	0.18
013D	8.9	30.56	5.2	0.18
	9.2	30.92	5.1	0.09
016	8.8	29.80	9.0	0.21
	9.8	31.91	2.6	0.17
017D	10.9	30.81	14.7	0.66
	8.9	29.09	15.3	0.28
018	8.9	28.72	11.1	0.22
	12.0	30.61	16.7	0.70
S1	9.3	29.03	18.2	0.37
	8.8	26.18	62.3	2.19
S2	11.6	29.45	26.9	1.04
	9.3	27.80	24.2	0.48
S3	10.4	32.39	2.6	0.41
	11.9	32.34	4.9	0.52
S4	9.3	30.79	8.0	0.31
	9.8	32.20	3.4	0.36
013Dおよび017D: 従来の013, 017を沖合部に移動	11.1	31.62	10.3	0.59
	9.2	30.12	8.8	0.22
016	10.3	32.37	2.4	0.40
	12.1	32.43	4.8	0.51
017D	9.9	31.58	3.7	0.30
	11.2	32.72	1.8	0.28
018	10.6	32.26	2.9	0.27
	10.6	32.26	2.9	0.27



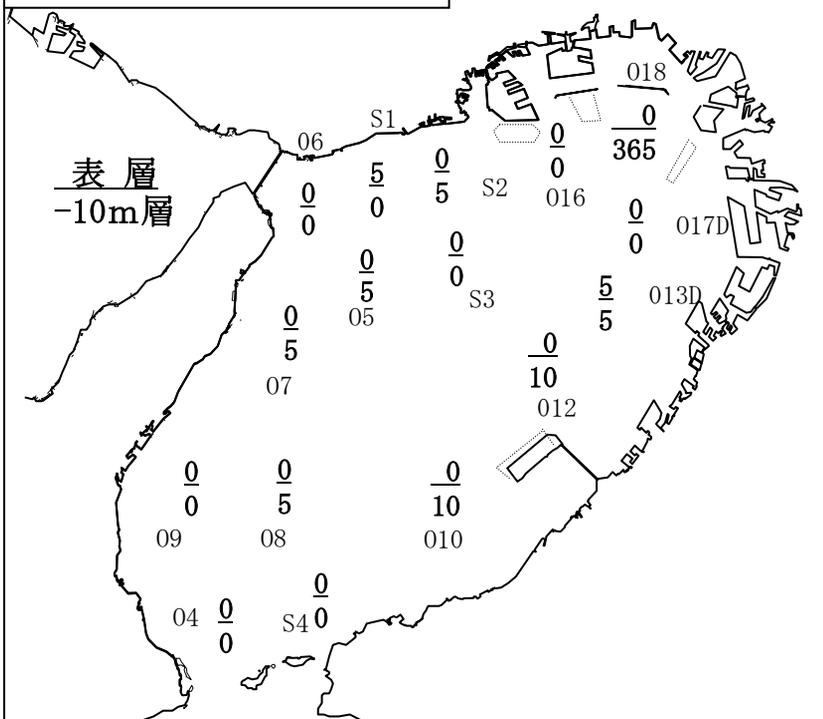
塩分 (表層、-10m層)



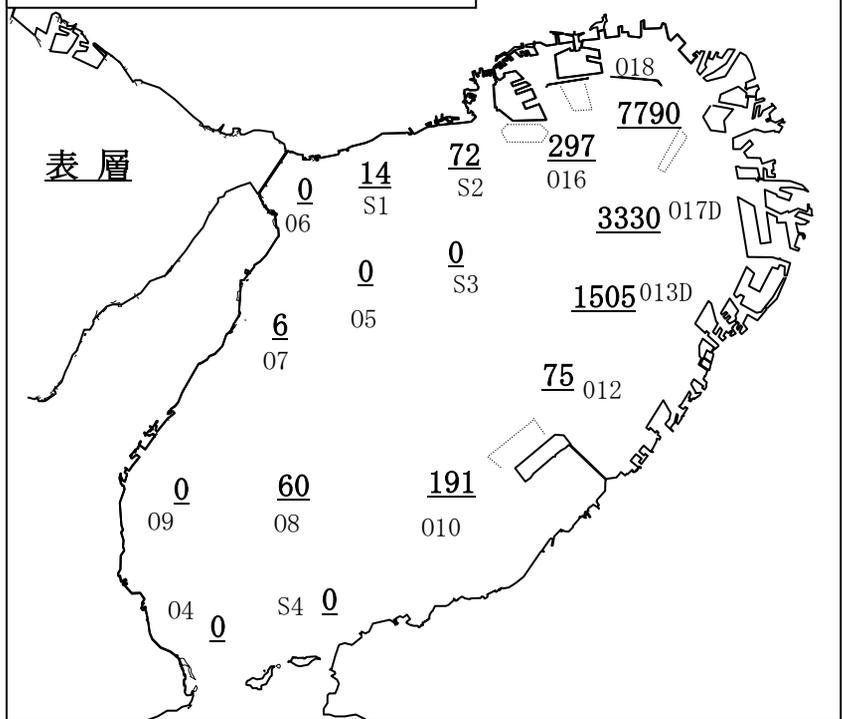
リン濃度 (表層、-10m層)



コシノディスカス (細胞/L)



スケルトネマ (細胞/ml)



ユーカンピア (細胞/ml)

